

IoTスマートリサイクルボックス

SmaGO

手を取り合って、日本の街をゴミ箱のある街へ

SmaGOのコンセプト



環境問題は深刻化が進み、ひとりひとりの環境への取り組みがもとめられています。大きな課題の一つ、海洋プラスチックごみは、8割以上が街から流れ出したものとされています。^{*} 街での適切なゴミ回収・処理の推進は、海洋汚染を食い止める一助となります。

世界の中でもゴミ箱が少ない日本の街へのSmaGO設置を通して、街と企業と人々が一体となって参加できる環境活動を提案します。

^{*}Mckinsey & Company 2015

SmaGOの3つの特徴



1 ソーラーで充電し蓄電



■ 上部のソーラーパネルで発電
■ 特許技術により最低月8時間の日照時間で作動

(例)3週間悪天候が続いても問題なく作動
※屋内や日当たりの悪い場所では、AC電源付きタイプをご利用いただけます。

自然にやさしい！
電源が不要！



2 ゴミが溜まると自動で約5倍に圧縮



■ ゴミが一定量溜まると、内部センサーが感知し自動で圧縮

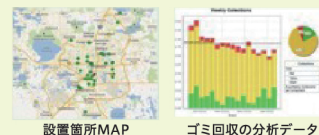
■ およそ5倍量のゴミを収容

■ 565kgの圧力で圧縮

ゴミが溢れない！
回収回数の削減が可能に！



3 通信機能でリアルタイムにゴミの蓄積状況を管理・分析



設置箇所MAP ゴミ回収の分析データ

Waste Stream	Fullness Level	Total Capacity (kg)	Current Capacity (kg)		
Compostables	0	1	0	13,330	38.8%
Bulkier/Cans	0	1	0	14,940	43.9%
Trash	7	0	0	8,870	19.4%
All Waste Streams	19	2	0	37,140	100%

収集ゴミの分析データ モバイルアプリ版

■ スマホ・タブレットやPCからゴミの蓄積/回収情報を管理分析

■ 各ゴミ箱のゴミの蓄積量をリアルタイムで確認

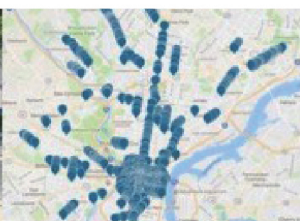
■ ゴミ箱が満杯になる前にメールアラートでお知らせ

効率的なゴミ回収が可能に！

SmaGO 設置事例

〈海外導入事例〉アメリカ合衆国 フィラデルフィア

市の環境プロジェクトとして1,300箇所以上に設置。ごみ問題解決のため、市長が中心となり2009年に500台導入。その効果を受け、設置箇所は拡大している。



導入前

- 市内のゴミ箱700箱のゴミ回収を33人のスタッフで週17回実施
- 年間230万ドルのゴミ回収コスト

導入後

- ゴミ回収頻度：週17回→週3回
- ゴミ収集担当者の人数：33人→9人
- 年間回収コスト：230万ドル→72万ドル

CO₂排出量
-335t

回収回数/週
-82%

スタッフ数
-73%

回収コスト
-70%

〈国内導入事例〉表参道・原宿エリア 森永製菓株式会社×表参道商店街櫛会



表参道駅から原宿駅までの道沿いに13箇所34台を設置。2020年10月8日より本格運用を開始。

広告主：森永製菓株式会社／設置主：表参道商店街櫛会



導入前



導入後

ゴミ箱から溢れて散乱していたゴミが大幅に軽減

〈凸版事例〉墨田区(SDGs関連プロモーションの一環)



墨田区は、内閣府が定める2021年度「SDGs未来都市」に選ばれており、さらにはその中でも特に先導的な取り組みとして毎年度10都市のみが選ばれる「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。その事業の一環として、凸版は墨田区へ「SmaGO」の設置を実施いたしました。